

石垣島地方気象台にまつわる4つのこと

100年以上も続く気象観測

石垣島地方気象台は世界気象機関WMOより「100年以上前から現在まで観測している」ことなど厳しい基準をクリアし



構内の認定プレート

2017年5月にWMO百年観測所として認定されました。認定当時、百年観測所は世界で116箇所しかなく、国内では石垣島地方気象台が唯一の観測所でした。2023年12月で気象観測は127周年を迎えます。これからも石垣島の気象観測を続けていきます。

テンブナーのウシュマイ

二代目石垣測候所長「岩崎卓爾（いわさきたくじ）」氏は天文屋の御主前（テンブナーのウシュマイ）と呼ばれ、人々に親しまれていました。岩崎にちなんだ名前がつけられた「イワサキクサゼミ」など多くの新種の昆虫などを発見しました。写真の胸像は岩崎のことを慕って島の有志の方々などが建てたものです。胸像は現在も気象台構内に設置されています。



岩崎卓爾胸像

戦争の爪痕

気象台の西側の壁に戦争当時の弾痕が残る壁があります。新栄公園内にも同じ壁があります。当時の石垣島測候所も米軍から狙われて爆撃を受けました。弾痕の残る壁は平和学習の資料として今も大切に保存されています。



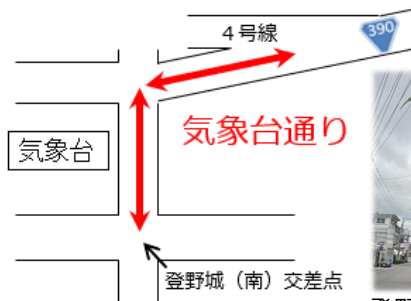
気象台の西壁の一部



新栄公園内にある壁

気象台通り

1992年 石垣市より市民へ道路の愛称名称の募集がありました。同年4月20日、4号線と国道390号線が交差する三叉路から登野城（南）交差点までの区間が「気象台通り」として選定されました。



登野城（南）交差点付近

石垣島地方気象台にまつわる4つのことを探してみてください！

防災気象情報は、テレビ・ラジオ・またはホームページから

石垣島地方気象台ホームページ <https://www.data.jma.go.jp/ishigaki/>

※ ホームページは、スマートフォン対応済みです。

お問い合わせ先：石垣島地方気象台 電話番号：0980-82-2170

石垣島地方気象台はこちらから



気象庁マスコット
はれるん